



# 若い力と一緒に 地域の活性化を

～若者雇用・教育の新たなシステムの構築を目指して～

松本市ではこの5月から、松本大学と協力して、若者を地域で育て、若い力と一緒に松本地域を活性化させようと「地域づくりインターンシップ戦略事業」を始めました。

このような地域づくりに特化したインターンシップは、全国初の取り組みとなります。インターン生の皆さんの声をお伝えします。

## 事業の概要は

「地域づくりインターンシップ戦略事業」は、地元志向の若者が、地域づくりセンターを拠点とした地域づくりの活動と大学での専門的な教育を受けることで、地域の活性化等、地域づくりの推進と地域社会に貢献する人材の育成を目指すものです。

第1期生の5人は、松本大学の特別調査研究員として、5月から中央、鎌田、入山辺、四賀、奈川の5地区で、地域の特色を生かした地域づくりに関わる活動をしています。活動期間は、3年を予定し、終了後は地元での就職や起業を目指しています。研究員の地域づくりを通して得られた成果は、大学での研究教育にも生かされます。

## インターン生の声

### 地域の明日を考える。

ゼミナール活動を通じて、さまざまな地域課題に関わってきた松本さんと丸山さん。生まれ育った地域で安心して暮らしていけるよう、住民の皆さんと一緒に検討してい

## もくじ

若い力と一緒に 地域の活性化を	2
国勢調査 2015	4
産後ケア事業がスタート	6
がん検診を受けましょう	7
自殺予防週間	8
臨時福祉給付金申請受付開始	10
国保の保険証を更新	11
災害の備えを確認しましょう	12
災害医療対策	13
動物愛護週間	14
市民活動フェスタ	15
健康フェスティバル	16
松本カーフリーデー	17
コラムのページ	18
情報チャンネル	20
10月の相談日 「orange」	41
映画エキストラ募集	42

ます。

## 奈川地区の調査

(松本回子さん)

大学時代に、「奈川地区の健康寿命がなぜ長いのか」を調査する活動を行いました。福祉ひろば等で調査した結果、「自分でできることは自分でやる、できないことや困ったことがあるときは近所の人や仲がいい人に協力してもらっている」ということがわかり、奈川の地域福祉に興味を持ちました。

5月から8月にかけて人口実態調査を行い、流出による人口減少や高齢化が進行していることがわかりました。

今後は、これらの調査結果を踏まえながら、10年後、20年後の奈川地区の姿を住民の

方々と話し合っていきたいと考えています。

## 四賀地区地域づくり協議会

(丸山裕也さん)

四賀地区では、今年の6月末に地域づくり協議会が設立されました。

現在、協議会の各部会に参加させていただき、住民の方々と一緒に、今年度の事業計画や今後の四賀地区がどうありたいかという大きなテーマに向けて検討しています。

私は、生まれも育ちも松本で、今後も松本で暮らしていきたいという思いがあります。そのため、インターンシップを通じて四賀地区の地域づくりに関わることは、自分自身の将来を考えていくことでもあると思っています。



▲この日は、5人で「カフェあげつち」に集まり、お互いの活動について話し合いました。

## 交流の場づくり

濱さんと塚原さんは、人のつながりが生まれ、交流ができるような場や、その仕掛けについて考えています。

### まちの拠点「カフェあげつち」

(濱田佳子さん)

学生時代から、上土商店街で、「コミュニティカフェ・上土日和」の運営に携わっていました。

現在は、上土商店街の下町会館「カフェあげつち」で、まちの拠点となる居場所づくりに取り組んでいます。

カフェには、地域の方々だけでなく、観光客も訪れま

す。そういった方々が笑顔で楽しく交流ができるような空間を作っていきたいです。

### 鎌田地区ならではの企画

(塚原有香さん)

現在、公民館だけでなく、福祉ひろば等で行われる事業にも積極的に携わっています。活動を通して、住民の方々と交流できることに、とてもやりがいを感じています。

今後は、学芸員の資格を生かし、鎌田地区の宝を発見できるイベントを企画していきたいです。そして、多くの皆さんに楽しみながら地域の魅力を再発見していただきたいと思っています。

## 地域の魅力を発信

岩垂さんは、農産物の仕入れ・販売の仕事に携わっていた経験を生かし、農産物をはじめとする地域資源の魅力発信に努めています。

### 入山辺の農産物を販売

(岩垂綾さん)

規格外により出荷できない農産物が廃棄されている現状を残念に思っていました。

今、入山辺の農家の方が生産した農産物を「カフェあげ

つち」とタイアップしながら出荷しています。

こうした取り組みにより、市街地での買い物弱者への支援、農家と消費者の間の関係づくり、更には農家のやりがいづくりを目指しています。今後も、農産物を買いにきてくれた方と直接会話をし、入山辺の魅力をもっとアピールしていきたいです。

### 松本版地方創生に向けて

松本市では、「超少子高齢型人口減少社会」を見据え、量から質へと発想を転換し、市民一人ひとりの命と暮らしを大切に考える、「健康寿命延伸都市・松本」の創造にいち早く取り組んできました。

現在、「地方創生」への取り組みが全国的に進められています。市では、今までに培ったノウハウと実績に基づく施策に更に新たなアイデアを加え、松本らしい特徴を生かした「松本版総合戦略」を10月末を目途に策定します。

若い世代から高齢者まで、将来に不安を感じることなく誇りと責任をもって生き生きと暮らせるまちづくり。「生きがいの仕組みづくり」を基本目標として進めています。

## 松本市・文藝春秋共催

# 「健康寿命延伸都市・松本」地方創生シンポジウム

迫りくる「超少子高齢型人口減少社会」に私たちはどう立ち向かうのか？そのヒントがここにありません。松本モデルの「地方創生」について、一緒に考えませんか。

- 日時 10月20日(火)  
午後4時開演(3時30分開場)
- 会場 まつもと市民芸術館 主ホール
- 内容
  - 【第1部】基調講演 午後4時～  
「少子高齢化社会における地方都市の生き方」  
増田寛也(元総務大臣)
  - 【第2部】パネルディスカッション 午後5時15分～  
「100年後の松本市を考える」  
パネリスト
    - ・増田寛也(元総務大臣)
    - ・賀来千香子(女優)
    - ・井上保(松本商工会議所会頭)
    - ・木俣正剛(文藝春秋常務取締役)
    - ・菅谷昭(松本市長)
- 定員 900人 ※応募者多数の場合は抽選
- 料金 無料
- 申し込み 「往復はがき」による申し込みが必要です。(1枚につき1人限り)
  - ・往信裏面：申込者の ①郵便番号・住所 ②氏名・年齢 ③職業 ④電話番号 を記入
  - ・返信表面：申込者の ①郵便番号・住所 ②氏名を記入し、〒390-8620 丸の内3-7 政策課内 松本市・文藝春秋シンポジウム応募係へ
- 締め切り 9月30日(水) 必着  
※シンポジウム参加者(先着900人)には『文藝春秋』11月号(10月発売)を差しあげます。
- 問い合わせ 地方創生シンポジウム実行委員会(政策課内) ☎34-3274 ☎34-3201